

平成 26 年度第 1 回東海北陸ブロック理学療法士協議会 理事会議事録

日時：平成 26 年 6 月 7 日（土） 18:00－20:00

場所：ダイヤモンドホテル「金剛飯店」

出席者：鳥山喜之（代表理事）、和泉謙二（静岡県士会）、島倉 聡（富山県士会）、
神戸晃男（石川県士会）、堀 秀昭（福井県士会）、榎林 優（岐阜県士会）、
高橋 猛（三重県士会）、南出光章（監事）、寺田 茂（監事）、加藤文之（事務局）

協議事項

1) 第 31 回学術大会開催案について

資料に基づき説明があった。
士会拠出金の増額が承認された。
第 31 回学術大会（平成 27 年度）より 100 円→200 円とする。

2) 第 32 回学術大会長承認について

提案どおり、大会長に榎林優（岐阜県士会長）、準備委員長に大嶽昇弘が承認された。
大会運営を別組織で運営を行うことが報告された。

3) 大会表彰受賞者の参加の取り扱いについて

提案どおり、参加費は免除とする。交通費は自費扱いとする。

4) 各士会における災害対策の取り組みについて

種々の意見交換の後、協議会に災害対策委員会を設置することとなった。
各士会で 1 名程度の委員が学術大会開催期間中に参集し意見交換を行う。
協議会からの支出に関しては、生涯学習担当者会議と同等扱いとする。
平成 27 年度に分掌規程の原案を作成することとなった。

平成25年度 第2回東海北陸ブロック理学療法士協議会 理事会議事録

日時：平成25年11月9日（土） 13:00から15:30

場所：名古屋国際会議場 2号館 231会議室

出席者：鳥山喜之（代表理事・愛知） 和泉謙二（静岡）

片田圭一（石川） 槇林 優（岐阜） 堀 秀昭（福井）

島倉 聡（富山） 高橋 猛（三重）

青田安史（第30回東海北陸理学療法学会準備委員長）

磯野靖夫（同準備委員）

半田一登（日本理学療法士協会会長）

山根一人（同理事） 木村正剛（同理事）

寺田 茂（監事・石川） 南出光章（監事・三重）

加藤文之（事務局） 池野倫弘（事務局代理）

議長：鳥山喜之

書記：池野倫弘

敬称略

報告事項

1) 第29回学会関係者報告

鳥山氏より報告あり。正午現在にて参加者は 700 名程度となっている。学生の事前登録が 700 名程度となっており、オープニングセミナーでも多くの学生が参加した。受付での学生の登録に時間がかかった部分もあり、今後の改善が必要と考えられる。

2) 士会近況報告

協議事項

1) 第30回学会開催案について

第30回学会開催案について、青田安史氏、磯野靖夫氏より現時点で決定しているテーマ、市民公開講座等について説明がされた。

演題登録については、現時点ではOSC演題登録システムを利用する予定である。次回以降も利用するかは30回の使用状況を見て検討していくこととした。

委託業者の利用については、予算の関係上にて部分委託を検討している。静岡県自身も600万円の負担を計算している。

2) 第31回学会会長承認について

第31回学会について、大会長については片田圭一氏（石川）が満場一致にて承認された。

3) 参加者の表記について

東海北陸学術大会における参加者の定義について、日本理学療法士協会の会員についてはすべて「会員」とする。また、発表者についてはブロック内における会員とすることで満場一致で決済された。当日の受付が「会員」として認識されるかは確認することとした。

4) 学術大会の主催について

現在、学術大会の主催は日本理学療法士協会と本協議会となっているが、役割分担が不明確の部分もあり、どこを主催と考えるべきかが協議された。

協会としても、税法上や各ブロックでの意識の違いがあるため懸案として考えており、今後協会としての方針が決まってから本協議会でも検討するということにて継続審議となった。

5) 監事の選出について

任期満了に伴い監事の選出を行い、拍手多数にて寺田茂氏（石川）、南出光章氏（三重）に引き続き赴任いただくことで承認された。

連絡事項

1) 国立国会図書館への学会誌提出について

国立国会図書館より、学会誌を必ず出してくださいと連絡あり。今後、学会誌は事務局から送ることとする。CD（PDF）ではなく冊子（書籍）にて送付する。

以前の会議で、本会の学会誌について向こう 5 年間は書籍にて送付することで決済している。

平成 25 年度第 1 回東海北陸ブロック理学療法士協議会 理事会議事録

日時：平成 25 年 6 月 8 日（土） 10:00－11:30

場所：TKP 東京駅前カンファレンスセンター9 階 ミーティング 9A

出席者：鳥山喜之（代表理事）、内田成男（静岡県士会）、島倉 聡（富山県士会）、
片田圭一（石川県士会）、堀 秀昭（福井県士会）、榎林 優（岐阜県士会）、
高橋 猛（三重県士会）、南出光章（監事）、寺田 茂（監事）、星野 茂（第 29
回東海北陸理学療法学会準備委員長）、青田安史（第 30 回東海北陸理学療法
学会 大会長）、加藤文之（事務局）

1. 代表理事挨拶

第 48 回日本理学療法学会について、7300 名参加（純会員）、クローク利用が多数で
急遽増設した。会員事前登録は新入会員の手続きが間に合わず、トラブルあり手間取った。

半田会長との話の中でブロックの役割の見直し、全国学会との位置づけ、協会の大会を
ハードルを高くし、参加費を高くし、専門性の高い学会大会としたい。ブロック学会を基
本の学会としてはどうか。ブロックの範囲（県）を見直して行く必要がある。

学会の印象（片田）：学会上での議論が少ない。若い会員が多く、発表してそのまま帰る
ということが多い。

協会が資金面を調達し、県が運営を行う。協会の予算の使い方を有効な使い方をしてほ
しい。

報告事項

1) 士会近況報告

静岡：2400 名、新入オリエンテーションは 270 名、昨年より少ない。施設代表者会議 150

施設：半田先生が講演。山口先生の遊説。役員改選：理事は立候補で決まる。内田先
生退任予定。施設代表者会議；1500 円支給。久しぶりに開催した。

富山：630 名、150 施設、法人会計、来週総会予定。特別な活動の予定はない。

三重：1050 名、オリエンテーション；80 名、PT/OT/ST で震災の委員会を立ち上げる。市民
公開講座 2 回開催予定。休会から退会へなる会員が 40 名ほどいる。少なくしたい。県
学会を見直ししたい。山口議員のことをいろいろ行っている。応援カード 4000 名

岐阜：1109 名。4 月に法人格取得。役員はこのまま。

県の総会をどのように行っているか。委任状を集めるのに苦労する。

委任状の在り方、司法書士によると委任状を保管する必要はない。委任状を開示することはない。施設長が委任状を集めるようにするとよい。FAXでも可能。

災害コーディネーター研修：講演、集まり悪い。講師の情報を教えてほしい。

ダンボールで作るベッドなどを作っている業者が愛知県にある。リハ医が入れなかったのを何とかしたい。

協議事項

1) 第29回東海北陸理学療法学会について

資料を参考に説明された。

2) 第30回東海北陸理学療法学会について

資料を参考に説明された。

平成 24 年度第 2 回東海北陸ブロック理学療法士協議会 理事会議事録

日 時：平成 25 年 1 月 26 日（土） 9:00－12:00

場 所：TKP 東京八重洲カンファレンスセンター ミーティングルーム 1E

出席者：鳥山喜之（代表理事）、内田成男（静岡県士会）、片田圭一（石川県士会）、
榎林 優（岐阜県士会）、堀 秀昭（福井県士会）、高橋 猛（三重県士会）、
寺田 茂（監事）、南出光章（監事）
青田安史（第 30 回東海北陸理学療法学会 大会長）
加藤文之（事務局）

協議事項

1) 理学療法士講習会の講師選出および講師謝礼について（静岡県士会）

各士会の理学療法士講習会選出・謝礼について伺いたい。
申込者が減っている。各県士会に協会直結の担当絵を設けるべきではないか。
個人のルートではなく公的ルートで行ってほしい。
認定理学療法士を講師としている。臨床系でも教授相当の扱いで行っている。

2) 次年度のブロック世話役について（三重県士会）

単年度となる。会長会の情報の提供を行う。
学会大会担当県が行うこととした。

3) 山口かずゆき氏に対する選挙協力依頼について

公選ハガキ、手渡し回収で行う。

4) 規約・細則の改定案について

添付の改定案で了承された。

5) 臨床実習教育研修会について

2 日間で土日開催である。
協会事業であり、ブロックで持ち回りとし、学会大会を行った士会は翌年開催することとなった。士会はほとんど何もしないが、会場選定を行う。
H25 年：三重県士会
H26 年：愛知県士会
H27 年：静岡県士会
H28 年：石川県士会

6) 本理事会の開催時期について

第 1 回を代議委員総会の時期に合わせる。第 2 回は学会大会開催時に行う。

平成24年度 第1回東海北陸ブロック理学療法士協議会 理事会議事録

日 時：平成24年11月10日（土） 14:30－16:30

場 所：四日市市文化会館 第1会議室（2F）

出席者：鳥山喜之（代表理事・愛知）、内田成男（静岡）、片田圭一（石川）

榎林 優（岐阜）、堀 秀昭（福井）、島倉 聡（富山）、高橋 猛（三重）

寺田 茂（監事・石川） 南出光章（監事・三重）

星野 茂（第29回東海北陸理学療法学会準備委員長）

森嶋直人（同準備委員）

池野倫弘（事務局代理）

議 長：鳥山喜之

書 記：池野倫弘

報告事項

1. 第28回学術大会関係者挨拶

第28回東海北陸理学療法学会について大会長の高橋氏より報告あり。今回は運営を業者委託せずに開催した。10日正午までに950名の参加者となっている。

2. 士会近況報告

石川県士会（片田圭一）

公益社団法人を取得したが、取得後に大きく変わったことはない。公益法人に必要なことを粛々と実施している。公益事業は県のスポーツセンターでの強化選手のバックアップ。今回のオリンピックにも出場した。高校野球の大会にも帯同。健康増進事業も実施している。

研修事業の参加人数には少し苦慮している。県、ブロック、全国で同じ講師が実施していることも要因の1つではと考えている。現在980名の会員数。

岐阜県士会（榎林 優）

11月より事務局を開設した。当初は春からの開設予定だったが、県からの認可に時間がかかった。現在は公益法人化に向けて動いている。また、ぎふ清流国体（第67回国民体育大会）の開催準備に携わった。

静岡県士会（内田成男）

現在の会員数が2212名、新入会が292名であった。会費未納が400名（現在は300名程度）いることが問題の1つである。山口衆議院議員の後援会には200名程度が参加している。

平成25年10月に第48回日本理学療法士協会全国学術研修大会を開催予定である。参加型のもの多く実施予定である。講習会、特に基礎編の集まりが悪い印象がある。市民公開系の講習会は好評である。高校野球（東海北陸の予選など）に関わっている。モデル校を置いて出張にて業務を行うこともある。研修会については会員カードでの受付で問題が発生しないかを心配している。

福井県士会（堀 秀昭）

現在の会員680名、今年度理事選挙があり理事を3名程度追加した。若い理事が加わっている。平成30年に国体が開催予定である。業務内容を把握するため、今年実施された岐阜にスタッフを派遣して情報を得たいと考えている。

理学療法士の未来を考える検討委員会を設置、今後の事業継続のために移動費等の負担の軽減も図っている。また、公益社団法人化に向けて現在申請中である。研究助成金の設置しており、一昨年1件、昨年0件、本年1件の実績がある。

富山県士会（島倉 聡）

一般社団法人を取得した。公益社団法人は事務局機能を強化してから考える予定である。

新人教育の履修率は高い。その後はだんだん履修率が下がってしまうため、今後は中間層の履修率を高めていきたい。ブロックごとの研修会の方が参加率が良い印象である。

愛知県士会（鳥山喜之）

平成25年に開催される、第48回日本理学療法学術大会、第29回東海北陸理学療法学術大会の準備を進めている。

公益社団法人取得に向けての準備を進めている。現在の会員数は4300名程度である。

協議事項

1) 第29回東海北陸学術大会開催案について（愛知）

第29回東海北陸学術大会開催について、星野準備委員長より企画書、パンフレットなどをもとに準備経過が報告される。テーマは「継（つなぐ）」、会期、会場、参加予定人数、会費、セミナー企画、収支予算、日程、大会役員についての報告がされる。演題数は300を予定している。また、抄録集についてはA4サイズの冊子を制作予定である。PDFでのデータの公表も並行する予定である。報告書の様式については、三重大会を参考に愛知大会でフォーマットを作成し次年度提案する。また、運営事務局については業者に委託している。

意見としては以下が挙がる。抄録集は1cm以内の厚さが望ましい、国会図書館にも所蔵されるので冊子にすることの意味も大きい、毎回、演題を集めるのに苦労するため演題の収集方法を考えるべき、会員は発表よりもセミナーの需要が大きいのでは、なるべく発表のハードルを下げたほうが良いのでは、症例発表の意味合いでも発表できれば良いのでは、事前登録は三重県では日程が厳しかった（3週間前までで締め）、事前申し込みは振込料が余計にかかる、事前に参加人数が把握できるメリットがある。

議論の結果、今後5年間は下記の内容で進めることで決議される。

- ①A4サイズの抄録を作成する。
- ②発表者はブロックの会員のみとする。
- ③事前登録を採用し、事前支払いは楽天クレジットのみとして割引はしない。
- ④抄録文字数を800字以内に変更する。
- ⑤倫理規定については抄録の中に盛り込む。
- ⑥表彰結果は後日発表とし、次期大会期間中に前大会長が表彰をする。

（それに伴い表彰規定を変更する。）

また、発表データの受付を当日にする、発表時の動画の使用を認めることについては愛知県にて試験的に開始し、その後は結果を踏まえて実施される施設の設備関係を考慮し担当士会の判断とする。

2) 第30回学術大会長承認について (静岡)

大会長は青田安史氏(浜松大学 保健医療学部 理学療法学科)にて承認される。

3) 学術大会の査読・座長の各県士会お願いに対する各県士会の対応の確認について (三重)

学術大会にて、開催士会が各県士会に査読・座長をお願いした際は、各県士会からあらかじめ本人に内諾をいただいてから開催士会に推薦することとする。

4) 協会本部のブロックへの援助の増額について (三重)

協会本部よりブロックへの援助の増額があった旨報告される。

5) 協議会規約「監事の選出、任期」について (愛知)

規約に監事の選出、任期の項目がないため、「各県士会からの推薦を受けて、理事会で承認される」と変更することで承認される。

その他)

東海北陸学術大会の開催順序については、規約の「第四章第21条2項」の順に従うこととする。

次回ブロック協議会理事会は、平成25年1月26日(土)に開催予定とする。

以上

平成23年度第2回東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成24年1月28日(土) 9:30－11:30

会 場：財団法人全電通労働会館 小会議室

出席者：理 事 鳥山喜之(愛知), 内田成男(静岡), 片田圭一(石川), 榎林 優(岐阜)
堀 秀昭(福井), 高橋 猛(三重)
監 事 南出光章、寺田 茂
事務局 加藤文之

代表理事挨拶

報告事項

- ・ 各士会より近況報告
- ・ 第27回学術大会の報告
- ・ 平成23年度協議会会計報告(4月～1月)

協議事項

1. 学術大会の運営について

大会運営マニュアルの作成、財政的負担が少なくなるよう会費の検討、学会誌のあり方等の基準・規程を見直す。

協会からの補助金増額を要望しているがなかなか難しいため、学術大会運営資金確保のため、各士会から一定金額を協議会へ拠出し大会運営として使用することとした。

拠出金規程

- ・ (各士会の前年度12月末時点での会員数) × 100 円
- ・ 各士会から協議会への振り込み期限は当年度8月末までとする。
- ・ 振り込み確認後、当年度学術大会担当士会へ送金する。

なお、この規程は平成24年4月1日より実施し、3年間実施後見直しを行うこととする。

2. 包括的会員管理システムについて

平成24年度より包括的会員管理システムが実施されるが、特に異動に関しては Web 上で会員が各自で登録できるため、士会での迅速な会員異動の把握が困難となる。

平成23年度第1回東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成23年10月29日(土) 14:40－16:40

会 場：富山国際会議場 大手町フォーラム 205 会議室

出席者：理 事 鳥山喜之(愛知)、内田成男(静岡)、片田圭一(石川)、
堀 秀昭(福井)、島倉 聡(富山)、高橋 猛(三重)

監 事 南出光章(三重)、寺田 茂(石川)

報 告 者 高島浩昭(第26回準備委員長)、赤尾和則(第28回副大会長)

陪 席 者 星野 茂(第29回準備委員長)、森嶋直人(第28回準備委員)

事 務 局 加藤文之

代表理事挨拶

第27回学術大会長挨拶

報告事項

- ・ 各士会より近況報告
- ・ 第26回学術大会の報告
- ・ 平成23年度協議会会計報告(4月～10月)

協議事項

1. 第28回学術大会開催案について(三重県士会)

テーマ：「理学療法のパテンシャルティ」

大会長：高橋 猛

会 期：平成24年11月10日(土)・11月11日(日)

会 場：四日市市文化会館

参加予定者数：1,760名

(会員：1,300名、会員外：60名、学生：100名、一般市民：300名)

内 容：

【特別講演】

テーマ 「改訂後の医療・介護保険について(仮)」

吉田久雄(日本理学療法士協会職能局 医療保険部長)

前園 徹(日本理学療法士協会職能局 介護保険部長)

【市民公開講座】

テーマ 「健康で美しくあるために」 武田美保(シンクロスイマー)

【セミナー】

運動器系：林典雄（中部学院大学 人間福祉学部）

中枢神経系：吉尾雅春（千里リハビリテーション病院 副院長）

循環器系：高橋哲也（東京工科大学 医療保険学部）

生活環境支援系：塩中雅博（㈱誠和医科学）

がんのリハビリ（維持期・緩和期）：増田芳之（静岡県立静岡がんセンター）

【プレコングレス】

小林寛和（日本福祉大学 健康科学部）

【一般演題】

220 題予定

【その他】

医療機器・介護福祉機器展示など

2. 第 29 回学術大会長承認について（愛知県士会）

愛知県士会長 鳥山善之 が承認された。

3. 本学術大会の開催運営方針の明確化について（石川県士会）

協会の分科学会別での対応ではなく、従来通りにいろいろな分野を含んだ学術大会として運営していくことで一致した。なお、この結果を協会理事会へも回答し、協会からの援助金のあり方として、協会費の一部（入金時に）を各ブロックへ配分してほしいとの意見があった。

4. その他

- ①表彰規定、運用手順については第 2 回理事会で最終決定することとなった。
- ②日本理学療法士協会へ士会としての意見を明確に述べる場が必要とのことで、協会の定時総会と全国士会長会議のあり方の見直しについて議論を交わした。
- ③代表理事が 12 月 11 日（日）の協会拡大理事会に出席できないため、副代表理事である堀秀昭氏（福井県士会長）が出席することとなった。
- ④平成 25 年度より学術大会の輪番順序を変更することとした。（下表参照）

東海北陸理学療法学会 輪番順

輪番順	現行の輪番順		輪番順を変更						
開催年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年
担当士会	富山県	三重県	愛知県	静岡県	石川県	岐阜県	福井県	三重県	富山県

平成22年度第2回東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成23年1月29日(土) 10:00－11:40

会 場：財団法人全電通労働会館 小会議室

出席者：理 事 鳥山喜之(愛知), 内田成男(静岡), 片田圭一(石川), 橘田正人(岐阜),
堀 秀昭(福井), 塚本 彰(富山), 高山文博(三重)

監 事 南出光章 (三重)

事務局 加藤文之

代表理事挨拶

報告事項

- ・ 各士会より近況報告
- ・ 平成22年度協議会会計報告

協議事項

1. 第26回東海北陸理学療法学会大会大会長賞について (福井県士会)

堀福井県士会長より大会長賞候補演題の選出経過の報告があり、竹内真太氏の「心拍一運動リズム間における同期現象の発生に伴う生理学的反応に関する指標の検討」を選出した。今後、座長推薦の未提出がないよう要望があり、推薦ありかなしとすることで一致した。表彰は次回大会(富山県)にて行うこととなった。

2. 第27回東海北陸ブロック学会大会における表彰規定について (富山県士会)

塚本富山県士会長より表彰規定および運用手順について説明があった。選考方法について、査読者による得点制方式、座長による評価、選考委員会による評価などにより選定する。査読者も県内のみでなく7県から選考するなど意見が出された。詳細は検討後連絡することとなった。

3. 表彰規定の運用手順について (富山県士会)

運用手順についても上記同様、検討後連絡することとなった。

4. 監事について

東海4県からは南出監事に引き続きお願いし、北陸3県からは協議して後日1名推薦してもらうこととした。

平成22年度第1回東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成22年11月6日(土) 14:30-16:40

会 場：福井市地域交流プラザ 6F 604 会議室

出席者：理 事 鳥山喜之(愛知), 内田成男(静岡), 片田圭一(石川), 橘田正人(岐阜),
堀 秀昭(福井), 塚本 彰(富山), 高山文博(三重)

監 事 南出光章 (三重)

報 告 者 大谷卓也 (第25回準備委員長), 田村 茂 (第26回大会長)、城戸智
之 (第26回準備委員長)、島倉 聡 (第26回準備委員長)

事 務 局 加藤文之

代表理事挨拶

第26回学術大会長挨拶

報告事項

- ・ 各士会より近況報告
- ・ 第25回学術大会の報告
- ・ 平成21年度協議会会計報告(4月～3月)、平成22年度協議会会計報告(4月～10月)

協議事項

1. 第27回学術大会開催案について(富山県士会)

テーマ：「こころをほぐして、医療の源流を探る」

大会長：田村 茂

会 期：平成23年10月29日(土)・10月30日(日)

会 場：富山国際会議場

参加予定者数：900～1,000名

内 容：

【特別講演1】

テーマ 「未定」 林 成之(日本大学大学院 総合科学研究科教授)

【特別講演2】

テーマ 「未定」 大村健二(山中温泉医療センター センター長)

【市民公開講座】

テーマ 「未定」 佐藤伸彦(ものがたり診療所 所長)

【セミナー】

入門セミナーⅠ：超音波関連

セミナーⅡ：脳血管障害に対する理学療法

セミナーⅢ：ガンに対する理学療法

ハンズオンセミナー：(入門セミナーⅠの修了者対象)

ランチョンセミナー：リハビリテーションと脳科学

【シンポジウム】

終末期のリハビリテーション

【一般演題】

口述発表（新人） 20 題 ポスター発表 96 題

口述発表 48 題 合計 164 題

【リラックストーク】

落語

【その他】

機器展示など

2. 第 28 回学術大会長承認について（三重県士会）

三重県士会推薦 高橋 猛 （鈴鹿医療科学大学）が承認された。

3. 協会本部に対してブロック学術大会の援助金増額について（石川県士会）

12 月 5 日の日本理学療法士協会理事会に要望書を提出する運びとなり、各士会の会員数の動向、学術大会参加人数を資料として添付することとなった。

4. 新人教育プログラムの利用方法の改善について（富山県士会）

2010 年 11 月 7 日に行われる生涯学習担当者会議にて代表理事より議題提出を行い検討することとなった。

5. 臨床実習教育研修会の開催について（富山県士会）

各士会の輪番制とし、平成 23 年度は静岡県士会が担当することとなった。

6. 東海北陸理学療法学会における表彰規程の変更について（富山県士会）

表彰は学術大会会期中に行うこととし、第 27 回大会より実施することとした。
ただし、実施方法の詳細は第 2 回理事会にて再検討することとした。

7. 代表理事・副代表理事の互選について

理事での互選の結果、代表理事 鳥山善之、副代表理事 堀 秀昭となった。

8. その他

- ①岐阜県士会より補助金の虚偽申請受給の報告があった。
- ②理学療法士研修会で、参加費、宿泊費、懇親会費がすべて込みでないと申し込みでないものがあるとの報告があった。
- ③第2回理事会を2011年1月29日（土）に開催する予定とした。

平成21年度第1回東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成21年10月31日(土) 14:00－16:30

会 場：長良川国際会議場 3F 第1会議室

出席者：理 事 鳥山喜之(愛知), 内田成男(静岡), 片田圭一(石川), 橘田正人(岐阜),
堀 秀昭(福井), 塚本 彰(富山), 高山文博(三重)

監 事 南出光章 (三重)

報 告 者 大西昇一 (第44回全国学術研修大会長), 寺田 茂 (第24回準備委員長), 大谷卓也 (第25回準備委員長), 高島浩昭 (第26回準備委員長)

事 務 局 加藤文之

代表理事挨拶

第44回全国学術研修会挨拶・報告

第25回学術大会挨拶

報告事項

- ・ 各士会より近況報告
- ・ 第24回学術大会の報告
- ・ 平成21年度協議会会計報告(4月～9月)

協議事項

1. 第26回学術大会開催案について(福井県士会)

テーマ：「理学療法士としてのアイデンティティの確立」

大会長：堀 秀昭

会 期：平成22年11月6日(土)・11月7日(日)

会 場：A O S S A (アオッサ)

参加予定者数：600名

内 容：

【大会長基調講演】

講 師 堀 秀昭 (大会長)

【特別講演】

テーマ 「20代の理学療法士への提言」(仮)

【セミナー】

4つの専門領域において、理学療法「力」を証明していただく

理学療法士は何かできるのか、何を国民に提示できるのか

【ランチョンセミナー】

【市民公開講座】

テーマ：地域医療連携の最前線，がん緩和ケアの最前線

【一般演題】

口述・示説発表形式（計60題予定）

【その他】

機器展示など

2. 第27回学術大会長承認について（富山県士会）

富山県士会 大会長 田村 茂氏（地域リハビリテーション支援室タムラ）が承認された。準備委員長には城戸智之氏（富山医療福祉専門学校）が承認された。

3. 優秀演題表彰について（岐阜県士会）

座長推薦にて大会長表彰とし，次大会開会式時に表彰し記念品を贈呈する。表彰に関する規定案を作成し第2回理事会にて検討することとした。

4. 学生の参加費について（岐阜県士会）

理学療法士養成施設以外の学生も学生参加費とする。理学療法士免許取得者で大学院生は一般会員参加費とする。

理学療法士以外の発表，学生の発表については，第2回理事会にて検討することとなった。

5. 協会の認定・専門理学療法士制度における研修会（基本編・応用編）の開催場所などの開催計画について（石川県士会）

士会へ持ち帰り第2回理事会で再検討することとなった。

6. 各県理学療法士会のウェブ上の研修会案内書式統一について（石川県士会）

各士会のホームページ上で研修会の単位取得の有無を明確にする。

7. 平成22年度臨床実習教育研修会について（富山県士会）

平成22年度の臨床実習教育研修会は富山県士会が担当することです承された。

平成23年度の研修会担当については，第2回理事会にて検討することとなった。

8. 第27回東海北陸理学療法学術大会時の学術誌のCD化について

(富山県士会・福井県士会)

新しい印刷方法にて安くなる可能性が高く、CDの方が安くできる。

プログラム集は紙媒体、抄録集はCDとし、個人宛の発送手順とする との意見もあり金額の確認を再度行い、**第2回理事会にて検討**することとなった。

9. 日本理学療法士協会学術大会誘致の署名のお願いについて（愛知県士会）

第48回日本理学療法学術大会誘致に関して、各士会長より賛同が得られた。

10. その他

①静岡士会が第48回学術研修大会（平成25年）にエントリーする予定であり、同年度に行われる東海北陸学術大会も担当となるため、順番を変更したい。順番変更に関しては承認された。どこの士会が変わって開催できるか**第2回理事会にて検討**することとなった。

②演題エントリー時の所属等に詐称があった場合の懲罰規定を設けるかどうかについては、**第2回理事会にて検討**することとした。

今回の件に関して、代表理事から各士会HPにメッセージを掲載してはどうかとの意見もあった。

平成20年度第1回東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成20年10月25日(土) 14:00－17:00

会 場：金沢市文化ホール 展示棟 2F 会議室

出席者：理 事 鳥山喜之(愛知)，内田成男(静岡)，荒木 茂(石川)，橘田正人(岐阜)，
堀 秀昭(福井)，塚本 彰(富山)，高山文博(三重)

報 告 者 岸川典明(第23回準備委員長)，片田圭一(第24回大会長)，寺田 茂
(第24回準備委員長)，大谷卓也(第25回準備委員長)，和田範文(第
25回学術局長)，大西昇一(第44回全国学術研修大会長)

和泉謙二(第4回研修システム特別委員会)

事 務 局 加藤文之

代表理事挨拶

第44回全国学術研修会挨拶

第24回学術大会挨拶

報告事項

- ・ 各士会より近況報告
- ・ 第23回学術大会の報告
- ・ 平成20年度協議会会計報告(4月～9月)
- ・ 第4回研修システム特別委員会報告

協議事項

1. 第25回学術大会開催案について(岐阜県士会)

テーマ：「構造と機能からみた理学療法」

大会長：橘田正人

会 期：平成21年10月31日(土)・11月1日(日)

会 場：長良川国際会議場，県民文化ホール未来会館

参加予定者数：1,500名

内 容：

【プレコンGRESセミナー】

テーマ 「心疾患のリハビリテーション」

講 師 湊口慎也先生(岐阜大学医学部循環器科教授)

【大会長基調講演】

テーマ 「構造と機能からみた理学療法」

講師 橘田正人（大会長）

【特別講演】

テーマ 「随意運動のメカニズム」

講師 中野 隆先生（愛知医科大学医学部解剖学講座教授）

【市民公開講座】

講師 今西和男氏（FC 岐阜ゼネラルマネージャー）

【シンポジウム】

テーマ 「PT による PT のための機能解剖とは」

講師 工藤慎太郎先生（国際医学技術専門学校理学療法学科）

河上 啓介先生（名古屋大学医学部保健学科）

荒川 高光先生（神戸学院大学大学院保健学研究科）

林 典雄先生（中部学院大学リハビリテーション学部理学療法学科）

司 会 時田幸之輔先生（埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科）

【セミナー】

I. 「投球障害肩のリハビリテーション」

杉本勝正先生（名古屋スポーツクリニック院長）

II. 「糖尿病のリハビリテーション」

横地正裕先生（あさひ病院リハビリテーション科）

III. 「PT として X 線像をどう読むか」

浅野昭裕先生（碧南市民病院リハビリテーション室）

IV. 「中枢神経疾患の理学療法について」

大槻利夫先生（諏訪赤十字病院リハビリセンター）

V. 「呼吸リハビリテーションについて」

吉川卓司先生（聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部）

【ミニシンポジウム】

各セミナーと同じテーマの主題演題を 1 セッション 5 題発表し、各セミナー講師が指定発言者となり総合討論会を行う。

【一般演題，症例報告】

口述・ポスター発表形式（計 145 題予定）

【その他】

機器展示など

2. 第 26 回学術大会長承認について

福井県士会 大会長 堀 秀昭氏（福井医療短期大学）が承認された。

3. 参加費の値上げについて（岐阜県士会）

現在 4,000 円であるが運営上困難であるため、参加費の値上げを要望。6,000 円としても良いのではとの意見もあったが、今回は 5,000 円とした。

4. 口述一般演題発表のスライド原稿について（岐阜県士会）

今回議題より取り下げられた。

5. 学術誌の配布先について（富山県士会）

簡素化することについては意見が一致した。各士会に持ち帰り、現状のままか、プログラム集のみ配布し、学術誌は当日の参加者のみに配布するかを次回第 2 回理事会で検討する。

6. 協議会の監事について（愛知県士会）

各士会へ持ち帰り検討し、次回第 2 回理事会にて推薦することとした。規約は改定することとした。

7. 第 44 回全国学術研修大会のバックアップについて（愛知県士会）

東海北陸ブロックの中で連携して協力していく。HP での広報などできる範囲で協力することで一致した。

平成 19 年度東海北陸ブロック理学療法士協議会臨時理事会議事録

日 時：平成 20 年 3 月 1 日(土) 15:00－17:30

会 場：名古屋クラウンホテル 6F 会議室（茜）

出席者：理 事 鳥山喜之(愛知), 内田成男(静岡), 荒木 茂(石川), 西脇 雅(岐阜),
佐々木伸一(福井), 滝田 正樹(富山), 高山文博(三重)
事 務 局 加藤文之

代表理事挨拶

報告事項

- ・ 平成 19 年度事業報告

資料のごとく報告を行った。

- ・ 平成 19 年度決算報告

資料に基づき報告を行った。PT 協会学術大会部からの援助金の計算方法を掲載した。
(臨時理事会時の宿泊代 1 名分が返金, 飲食費を支払いにより修正)

収入	2008. 3. 1現在
項目	金額
繰越金	¥622, 574
PT協会援助金 (80万円＋士会数(7)×8万円)	¥1, 360, 000
雑費収入 (利息)	¥1, 035
合計	¥1, 983, 609

支出	金額
項目	金額
第23回東海北陸理学療法学会 援助金	¥1, 160, 000
理事会旅費 (宿泊費, 交通費)	¥104, 000
理事会会議費	¥7, 217
生涯学習担当会議費	¥14, 400
臨時理事会 (会議室借用代, 宿泊費, 会議費)	¥84, 552
臨時理事会 (交通費)	¥70, 000
郵送代	¥1, 730
振り込み手数料	¥210
合計	¥1, 442, 109

差引残高 (次期繰越金)	¥541, 500
--------------	-----------

- ・ 各士会より近況報告

協議事項

1. 第 25 回東海北陸理学療法学会の参加費値上げについて（岐阜県士会）

規約を改定し，開催県士会の一任で参加費を決れることとなった。

2. 規約の見直しについて（代表理事）

定期理事よりの継続審議として，副代表理事の職責の見直しを含めて全般的な規約の見直しを行い，平成 20 年 4 月 1 日より施行することとなった。細則の会議に関する項に関しては各士会へ持ち帰り検討し次回理事会にて再検討することとなった。（別紙規約参照）

4. その他

平成 21 年度の臨床実習指導者研修会の開催地について，静岡県士会にて行う可能性があるとのことであるが，次回理事会にて決定することとした。

平成 19 年度東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成 19 年 10 月 27 日(土) 14:00－17:00

会 場：ポートメッセなごや 交流センター3 階 第 5 会議室

出席者：理 事 鳥山喜之(愛知), 内田成男(静岡), 荒木 茂(石川), 西脇 雅(岐阜),
佐々木伸一(福井), 堀 秀昭(福井), 塚本 彰(富山), 高山文博(三重)

協会代表 梶村政司

報 告 者 菊池和也(第 22 回大会長), 青木一治(第 23 回大会長), 岸川典明(第
23 回準備委員長), 片田圭一(第 24 回大会長), 寺田 茂(第 24 回準備
委員長)

事 務 局 加藤文之

代表理事挨拶

第 23 回学術大会挨拶

報告事項

- ・ 各士会より近況報告
- ・ 第 22 回学術大会の報告
- ・ 平成 18 年度協議会会計報告

協議事項

1. 第 24 回学術大会開催案について(石川県士会)

テーマ：「理学療法技術を磨く」

会 期：平成 20 年 10 月 25 日(土)・26 日(日)

会 場：金沢文化ホール

後 援：石川県・金沢市・石川県医師会・金沢市医師会・石川県看護協会・石川県作
業療法士会・石川県言語聴覚士会(予定)

参加予定者数：1,500 名

内 容：

【基調講演】

テーマ 「生活習慣病に対する理学療法技術」

講 師 片田 圭一大会長

【特別講演】

テーマ 「脊椎・脊髄疾患の病態と最新治療」

講 師 富田勝郎先生（金沢大学医学部医学科教授）

【セミナー】

I. 「人生 80 年時代の予防 ―理学療法士としての大いなる活躍―」

大渕 修一 先生（東京都老人総合研究所）

II. 「脳卒中の理学療法 ― 理学療法士の常識は非常識 ―」

吉尾 雅春 先生（千里リハビリテーション病院）

III. 「マッスルインバランスに対する徒手療法の応用」

荒木 茂 先生（石川県リハビリテーションセンター）

IV. 「下肢関節疾患に対する身体運動の再構築」

石井 慎一郎 先生

（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部リハビリテーション学科）

V. 「排尿障害に対する包括的アプローチ」

田舎中 真由美 先生（インターリハ株式会社）

VI. 「理学療法と位置知覚」

浅井 仁 先生（金沢大学医学部保健学科）

【一般演題】

口述発表，ポスター発表（計 130 題予定）

【その他】

機器展示など

2. 第 25 回学術大会長承認について

岐阜県士会 大会長に橋田雅人氏，準備委員長に大谷卓也氏が承認された。

3. 規約第 9 条役員の任期についての検討（静岡県士会）

副代表理事の任期が明確でない。会計年度は 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日であるが，役員の改選は学術大会時に行っており役員任期と会計年度が一致していない。また，役職が個人につくか士会につくかにより任期期間も変化する。本会議では年 2 回再開が全会一致で承認され，この副代表理事の件も含め規約全般について年度内に再度会議を開催し協議することとなった。

4. その他

臨床実習指導者研修会の開催について，協会よりブロックで決めてほしい旨連絡があった。来年度も富山県士会で開催するが，他士会からの立候補も行う予定となった。

平成 18 年度東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成 18 年 10 月 28 日(土) 16:00－18:30

会 場：富士市文化会館ロゼシアター 4F「寒竹の間」

出席者：理 事 保村譲一(愛知), 石井俊夫(静岡), 荒木 茂(石川), 西脇 雅(岐阜),
佐々木伸一(福井), 塚本 彰(富山), 大西昇一(三重)

相 談 役 勝田治己

協会代表 鈴木重行

報 告 者 青木一治 (第 23 回大会長), 岸川典明 (第 23 回準備委員長), 他 2 名
菊池和也 (第 22 回大会長), 和泉謙二 (第 22 回準備委員長)

事 務 局 加藤文之

報告事項

- ・ 各士会より近況報告
- ・ 第 21 回学術大会の報告
- ・ 平成 17 年度協議会会計報告

協議事項

1. 第 23 回学術大会開催案について (愛知県士会)

テーマ：「生体と環境と理学療法」

会 期：平成 19 年 10 月 27 日(土)・28 日(日)

会 場：ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)

内 容：

【基調講演】

テーマ 「生体と環境と理学療法」

講 師 青木一治大会長

【特別講演】

テーマ 「生体環境と理学療法」

講 師 辻田純三先生 (兵庫医科大学健康スポーツ科学 講師)

【特別企画】

テーマ 「環境と感性」

講 師 飯田建夫先生 (立命館大学情報理工学部知能情報学科 教授)

【一般演題】

口述，ポスター180 題予定

【プレコングレスセミナー】

「脳と環境と理学療法」

石田和人先生（名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻助手）

「痛みー生体の警告信号」

松原貴子先生（名古屋学院大学人間健康学部リハビリテーション学科

理学療法学専攻講師）

【新人教育プログラム】

「症例検討Ⅲ」ポスター発表

【市民公開講座】

テーマ 「気象の変化は本当に痛みを悪化させるのか？」

講 師 佐藤純先生（名古屋大学環境医学研究所

近未来環境シミュレーションセンター 助教授）

【医療機器・介護福祉機器展示】

その他，レセプション，書籍販売も計画

「6）学術誌掲載用抄録文字数の削減について」，「7）新人教育プログラム「症例検討Ⅲ」について」，「8）東海北陸理学療法学術大会の演題募集について」についても同時に検討された。

8）のキャンセルをなくす意味でも，次年度より演題登録は 1 回のみ一括登録（6 月末）とし，抄録文字数は 1000～1200 文字とすることで承認された。また，新人教育プログラム「症例検討Ⅲ」のポスターセッションを設けることが承認された。

2. 第 24 回学術大会長承認について

石川県士会 大会長に片田圭一氏，準備委員長に寺田茂氏が承認された

3. 協会会員名簿作成の是非について（三重県士会）

日本理学療法士協会は 18 年度の名簿は作成しないとのことであるが，各士会事務局にはあったほうがよいため，CD でもよいので配布していただくよう拡大理事会で提案することとなった。

4. 社会局関連の担当者会議の開催について（福井県士会）

昨今の状況より定期的な意見交換が必要とのことで、次年度より定例化し代表理事が召集することとなった。司会などは担当県が行う。

5. 専門理学療法士認定制度とその有り方に関する検討について（富山県士会）

今後も継続審議とし、協会へも提案していく。

6. 学術誌掲載用抄録文字数の削減について（愛知県士会）

1000～1200 文字とすることで承認された。

7. 新人教育プログラム「症例検討Ⅲ」について（愛知県士会）

次年度の大会企画に盛り込むことが承認された。

8. 東海北陸理学療法学会の演題募集について（静岡県士会）

1 回一括登録とすることで、キャンセルもできなくなるため、6 月末までの期間に一括登録を行うことで承認された。

9. 東海北陸理学療法学会の座長推薦について（静岡県士会）

各士会でコンセンサスをしっかりとって推薦することが申し渡された。

10. 協議会役員改選について

代表理事は愛知県士会長の保村譲一氏が再任された。副代表理事には福井県士会長の佐々木伸一氏が認められた。

11. その他

関東甲信越ブロック代表会長より PT 賠償責任保障制度の団体加入を容認することに本ブロックも賛成してもらいたい旨の提案があった。

平成 17 年度東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成 17 年 11 月 12 日(土) 16:00－18:00

会 場：四日市市文化会館 2F 第 1 会議室

出席者：理 事 保村譲一(愛知), 石井俊夫(静岡), 荒木 茂(石川), 西脇 雅(岐阜),
佐々木伸一(福井), 塚本 彰(富山), 大西昇一(三重)

相 談 役 勝田治己

協会代表 青木一治

報 告 者 菊池和也 (第 22 回大会長), 和泉謙二 (第 22 回準備委員長), 他 2 名

事 務 局 加藤文之

報告事項

- ・ 各士会より近況報告
- ・ 第 20 回学術大会の報告
- ・ 平成 16 年度協議会会計報告

協議事項

1. 第 22 回学術大会開催案について (静岡県士会)

テーマ：「健康と理学療法」

会 期：平成 18 年 10 月 28 日(土)・29 日(日)

会 場：富士市文化会館 ロゼシアター

内 容：

【大会長基調講演】

テーマ 未定

講 師 菊池和也大会長

【特別講演】

テーマ 未定 (健康増進領域の理学療法に関して)

講 師 未定

【シンポジウム】

理学療法士が活動する健康増進領域の隣接学際について

【教育セミナー】

新人教育関連の 2～3 題予定

【一般演題】

口述 40 題，ポスター100 題予定

【市民公開講座】

健康増進関連もしくは転倒予防関連を予定

【医療機器・介護福祉機器展示】

その他，レセプション，書籍販売も計画

第 22 回より Web 登録を実施することとなり，そのシステムの説明が行われた。

2. 第 23 回学術大会長承認について

愛知県士会 青木一治氏を全会一致で承認

3. 協会における全国士会長会議の位置付けについて （福井県士会）

協会組織部において検討しているとのこと

4. 協会からのブロック補助金の増額について （富山県士会）

平成 17 年度より増額された

5. 運動器のリハビリテーションの新設に伴う、「理学療法の算定は理学療法士に限定」とのPT協会の基本的な考え方を支持する。（富山県士会）

協議会としても支持する方向である

6. 学術大会での演題採択について （三重県士会）

若い人材を育てる意味ですべて採用している。今後は査読システムを視野に入れて Web 公開する方向で検討する。まずは，査読者は県内を対象とする。

7. 座長の資格について （三重県士会）

相談役が以前に報告した「ブロック学会のあり方を考える」を参考にすることとした。

8. 今後の東海北陸ブロックの公益事業担当者会議のあり方について（三重県士会）

企画を行う段階で誰に聞いてよいか分からない。代表理事に聞くこととなった。

9. ブロック士会長会議（理事会）年2回開催定期化について（愛知県士会）

2回開催に定期化してしまう必要性はなく、1回は学術大会時に行い、その他は必要に応じて開催することとなった。

10. 協議会規約改正について（愛知県士会）

以下の内容に改正することとなった

①第3条 事務所設置の項

代表理事が指定する施設もしくは士会事務局に置く

②第6条 役員の項

理事7名（うち代表理事1名、副代表理事1名）

事務局長1名

平成 16 年度東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成 16 年 10 月 31 日(日) 10:00－12:00

会 場：富山県民会館 608 号室（会議室 3）

出席者：理 事 保村譲一(愛知), 石井俊夫(静岡), 荒木 茂(石川), 西脇 雅(岐阜),
佐々木伸一(福井), 荻島久裕(富山), 大西昇一(三重)

相 談 役 勝田治己

協会代表 鈴木重行

報 告 者 堀 秀昭（第 19 回準備委員長）, 塚本 彰(第 20 回準備委員長)
高橋 猛（第 21 回準備委員長）

事 務 局 加藤文之

報告事項

- ・ 学術大会の決算報告は各士会の監査を受けてから提出する.
- ・ 協会援助金の増額については難しいとのこと.
- ・ 16 回決算報告中の支出の部「食料費」を「会議費」に変更.
- ・ 10 月 30 日に行われた生涯学習担当者会議及び公益事業担当者会議の報告が行われた.
生涯学習担当者マニュアルが提出され, これに則って今後は運用することとなり, 公益事業担当者会議も継続して開催することとなった. 次回より理事会を第 1 日目, 諸会議は 2 日目に行うこととなった. また, 規約細則の変更を行うこととなった.

協議事項

1. 第 21 回学術大会開催案について（三重県士会）

テーマ：「運動器障害に対する理学療法」

会 期：平成 17 年 11 月 12 日(土)・13 日(日)

会 場：四日市文化会館

内 容：

【特別講演】

テーマ 「老化と運動器障害」（仮題）

講 師 国際医療福祉大学教授 丸山 仁司先生

【市民公開講座】

健康増進関係

【市民公開企画】

運動器の 10 年について、理学療法とは、理学療法士養成施設紹介など。

【セミナー】

運動器疾患を整形外科のみならず広い視点から捉え理学療法士の関わりについて検討する。

・整形外科疾患系、・中枢疾患系、・内部疾患系、・スポーツ障害系

【一般演題】

130 題予定

【医療機器・介護福祉機器展示】

後援名義が多いため、もう少し絞った方がよい。一般演題はポスターも考えている。

2. 第 22 回学術大会長承認について

静岡県士会 菊池和也氏を全会一致で承認。

3. 東海北陸理学療法学術大会の輪番変更について（岐阜県士会）

福井県士会が承知して次年度に正式決定すれば、配慮することとなった。

4. 東海北陸理学療法学術大会のオープン化について（静岡県士会）

PT 協会はオープン化しているため、東海北陸もオープン化することで承認された。
オープン化に関する基準は PT 協会学術大会部に確認し、PT 協会のものを遵守する。

5. 演題募集のオンライン登録について（静岡県士会）

準備の費用の問題があるが、他士会でもできるような額であれば継続していく。
オンライン登録に伴うメリット、デメリットについて次年度の本会で報告をしていただくこととなった。

6. 細則の理事会以外の「会議に関する項」の見直し及び会議出席者に対する手当の支給について（三重県士会）

細則に則って、検討することとなった。

7. 協議会費用の見直しについて（愛知県士会）

今後検討していくこととなった。

8. 学術誌のあり方について（愛知県士会）

PT 協会では CD 化に掛かる費用が 300 万円のため CD 化は廃案となった。各自一冊の配布の必要性について PT 協会理事会で今後検討する予定である。

施設 1 冊とし希望者には有料とする場合、別にプログラム集を全会員に配布する必要があることや Web 公開は原則的にオンライン登録が必須である。PT 学会で使用しているオンラインシステムをブロック学術大会で利用できるかどうかすずき理事が確認することとなった。この件に関しては今後も継続して検討していくこととなった。

9. その他

新潟の地震に関して、援助方法（マンパワー、義援金など）を本部と調整しながら様子を見ることとなった。今回集めた義援金は新潟県士会へ送り、使い方は新潟県士会に任せることとなった。

平成 15 年度東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成 15 年 11 月 8 日(土)15：30－17：30

会 場：フェニックスプラザ 4F 401 会議室

出席者：理 事 保村譲一(愛知)，石井俊夫(静岡)，荒木 茂(石川)，林 寛(岐阜)，
奈須田鎮雄(福井)，荻島久裕(富山)，大西昇一(三重)

相 談 役 勝田治己

協会代表 中山彰一，鈴木重行

報 告 者 塚本 彰(第 20 回学術大会準備委員長)

事 務 局 加藤文之

協議事項

1. 相談役承認について

相談役として前代表士会長勝田治己氏が全員一致で承認された。

2. 第 20 回学術大会開催案について（富山県士会）

テーマ：「理学療法とマネージメント」～理学療法をスムーズにすすめるために～

会 期：平成 16 年 10 月 30 日(土)・31 日(日)

会 場：富山県民会館

内 容：

【特別講演】

テーマ 「理学療法とマネージメント」

講 師 広島大学医学部保健学科教授 奈良 勲 氏

【市民公開講座】

テーマ 「パワーリハビリテーション」～高齢期の健康マネージメント～

講 師 日本医科大学リハビリテーションセンター教授 竹内 孝仁 氏

【セミナー】

I. 職場管理 II. クリニカルパス III. リスクマネージメント

【一般演題】(主題演題含む)

120 題予定 (主題演題以外はすべてポスター発表)

【その他】

東海北陸ブロックの養成校を対象に紹介コーナーを設置予定。

3. 第 21 回学術大会長承認について

三重県士会会長 大西昇一氏を全会一致で承認.

4. 理学療法週間事業の広告について（愛知県士会）

PT 協会では次年度にこの件に関する企画はないため議題を取り下げた.

5. 東海北陸理学療法学術大会における協会の援助金について（富山県士会）

各県士会の会員が増えている現状で、会誌の印刷・発送費の負担が大きくなっているため、それに見合った援助金の増額を PT 協会理事会（12 月）に議題として提出することとなった. 提出議題案は代表理事が作成し協会理事の鈴木氏が確認することとなった.

6. 東海北陸理学療法学術大会におけるポスター発表導入について（福井県士会）

次年度（第 20 回学術大会）より導入することとなった.

7. 東海北陸地区の養成校連絡協議会の設置について（福井県士会）

東海地区にはあるが、北陸地区にはない. 各養成校にて協議していただくことになった.

8. 臨床実習指導者の資質向上を目的とした研修会の開催について（福井県士会）

協議会から PT 協会理事会へ提案してはどうか、PT 協会と協議会の二本立てで開催してはどうか、養成校主催の方が人は多く集まる、協会で行うなら専門領域の教育管理系となるなどの意見が出されたが、今後検討していくこととなった.

平成 14 年度東海北陸ブロック理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成 14 年 11 月 9 日(土)14：00－16：00

会 場：岐阜県民文化ホール未来会館 5F 和室会議室

出席者：理 事 勝田治己(愛知)，石井俊夫(静岡)，荒木 茂(石川)，林 寛(岐阜)，
奈須田鎮雄(福井)，荻島久裕(富山)，大西昇一(三重)

協会代表 鈴木重行

報 告 者 堀 秀昭(第 19 回東海北陸理学療法学会準備委員長)

事 務 局 加藤文之

協議事項

1. 第 19 回学会大会について (福井県士会)

テーマ：「理学療法の再構築」

会 期：平成 15 年 11 月 8 日(土)・9 日(日)

会 場：フェニックス・プラザ

内 容：

【市民開放講演】(第 1 日目 PM3:30～5:00)

「高齢者の健康増進」(検討中)

【市民公開企画】

「理学療法とは」 「理学療法養成施設紹介」 (検討中)

【特別講演】(第 2 日目 PM1:00～2:00)

「地域リハビリテーション」

茨城県立医療大学付属病院 院長 大田 仁史先生

【セミナー企画】(第 2 日目 AM9:00～PM3:00)

「内部障害系理学療法のツボ」(4 つ)，「整形疾患における評価と治療の
コツ」(5 つ)，「中枢神経の理学療法」(3 つ)，「要介護高齢者と地域活
動」 パネラー発表時間各 15 分，全体討議 15 分程度の予定

【一般演題】(第 1・2 日目) 120 題予定

2. 第 20 回学会長について

富山県士会 荻島 久裕氏が承認された。

3. 規約の見直しについて（愛知県士会）

全会一致で承認された。

4. 士会事務局間連絡の電子メール活用について（石川県士会）

各士会事務局でメールアドレスを取得しており、郵送費削減にもなることから反対意見なく承認された。なお、後日メールアドレスを連絡してもらうこととなった。

5. 協会理事候補者推薦について（石川県士会）

鈴木重行氏 灰田信英氏の両氏を協会理事候補として東海北陸ブロックで応援することに異議なく承認された。

6. 全国規模の政治連盟の必要性について（三重県士会）

三重県士会から上記について各士会の意見を聞きたいとの発言があり、石川県士会より法人士会の集まりで PT 協会とは別組織の政治連盟立ち上げの話が進んでいるとの情報が報告された。政治連盟の限界などについて議論されたが、その必要性について確認された。

7. 理学療法週間ブロック負担金調達について（代表理事）

石川県士会より 15 年度協会事業案について、その趣旨には賛成であるが、資金の大部分を会員外に頼る方法論の価値観に対する疑義が出され、これをめぐって種々の論議が行われた。その結果、目的には賛成であるが他の方法論を検討すべきであり、当ブロックとして協会理事会で発言することとなった。代表理事は他のブロックと連絡をとり 12 月 7 日の理事会で意見を述べることで確認された。

8. 学会の主催について（代表理事）

代表理事より、規約の中に学会のことが謳ってあるので、基本的に主催は協議会であると考えたとの発言があった。次回以降、原則的に主催は協議会とし担当は各県士会とする。それができない事情が生じた場合は直ちに連絡していただき、協議することとしコンセンサスを得るようにしたい。併記が可能かどうかについては鈴木協会理事が調査し結果を通知する。

平成 13 年度東海北陸理学療法士協議会理事会議事録

日 時：平成 13 年 11 月 10 日(土)14：00～16：00

会 場：松任市民会館 204 号室

出席者：理 事 勝田治己(愛知), 石井俊夫(静岡), 荒木 茂(石川), 林 寛(岐阜),
奈須田鎮雄(福井), 荻島久裕(富山), 大西昇一(三重)

協会会長 奈良 勲

報 告 者 加藤忠幸(第 18 回準備委員長)

事 務 局 加藤文之

協議事項

1. 第 18 回学会について (岐阜県士会)

テーマ：「予防医学における理学療法」

会 期：平成 14 年 11 月 9 日(土)・10 日(日)

会 場：県民文化ホール 未来会館

内 容：

【市民公開講演】(第 1 日目 PM3:00～5:30)

「予防医学における運動の役割」

岐阜大学医学スポーツ部医科学講座教授 松岡 俊彦 先生

【学会長講演】(第 2 日目 AM9:20～10:00)

「専門職としてのストレッチング」～障害予防のために～

第 18 回東海北陸理学療法学会会長 林 寛 先生

【特別講演】(第 2 日目 PM1:00～3:00)

「スポーツ障害予防に必要な知識, 技術」

札幌医科大学保健医療学部理学療法学科教授 David.J.Magee 先生

【一般演題】(第 1・2 日目)

120 題(保健・医療・福祉関連) 口述のみ

2. 第 19 回学会長について

福井県士会 奈須田鎮雄氏が承認された。

3. 規約の見直しについて

「士会長の士を省く。ブロック代表者を協議会会長とする。各士会会長は理事とし士会長会議を理事会とする。本協議会が行なう学会を学術大会へ名称変更する。」等の修正案に基づき規約を再度作成することとし、第 37 回日本理学療法学術大会において臨時士会長会議を招集し再検討することで意見統一された。細則に関しては承認された。

4. 少人数士会に対するブロック学会運営資金の援助について（提案：福井県士会）

「協会援助金増額を要求する。学会参加費の値上げを行う。各県で学会誌郵送費を負担する。協議会費として会員一人あたり 500 円づつ徴収し、協議会で管理し担当士会へ配布する。」等の意見が出された。

①第 21 回までは現状のままで行うこと。②各士会が 4 回目の開催となる第 22 回から何らかの方法を実施すること。③その方法については各士会に持ち帰り検討していくこと。

上記のごとく決定した。

5. ブロック代表（士）会長改選について

現会長勝田治己氏の留任が全員一致で承認された。

平成 12 年度東海北陸理学療法士協議会士会長会議議事録

日 時：平成 12 年 11 月 26 日（日）11：30－14：00

会 場：名古屋国際会議場 4 号館 434 会議室

出席者：士 会 長 勝田(愛知), 林(岐阜), 稲本(三重), 石塚(静岡代理),
灰田(石川), 奈須田(福井), 荻島(富山),
協会理事 鈴木
事務局 加藤
報 告 者 荒木(第 17 回学会長), 片田(第 17 回準備委員長)

協議事項

1. 第 17 回学会について（石川県士会）

テーマ：「21 世紀の理学療法を考える」

会 期：平成 13 年 11 月 10 日(土)・11 日(日)

会 場：松任市民会館，松任中央公民館

2. 第 18 回学会長について

岐阜県士会 林 寛氏が承認された。

3. 学会演題募集要項の統一について

前日開催された学術担当者交流会での試案について石川県士会より報告された。

- ① 3 月 1 日から 5 月 31 日までを演題登録期間とし演題名を登録する。
- ② 6 月 1 日から 7 月 31 日までを演題募集期間とし学会誌原稿を応募する。
(このスケジュールは 11 月初旬学会開催を基準としており，変更の場合はなるべく早く会員に周知を図ること.)
- ③ 学会誌のサイズを A4 版とする。
- ④ 演題の倫理的問題については募集要項に「ヘルシンキ宣言」等より参考となる項目を簡略に掲載し出典を付記する。

以上 4 項目について第 17 回学会より実施することとなった。

4. 協会理事擁立について

平成 13 年の協会理事選挙に鈴木重行氏（現理事）と石川県士会士会長灰田信英氏の 2 名を協議会として擁立し、各県士会で応援態勢をとることが申し合わされた。

5. ブロック学会座長推薦基準について

三重県士会より座長推薦の基準のようなものがあれば意見を伺いたい旨の要望があったが、基準を設けると同じような人ばかりが座長となる可能性が高く、座長の経験を通して人材育成も図るブロック学会の目的が損なわれかねないので、今のところ特に基準は設けない方がよいという意見で集約された。

6. ブロック学会名称変更について

PT 学会の名称も変更となったこと、学会名から「士」を取り除くことで対外的意義を強調できるのではないかなどの趣旨で岐阜県士会から提出された。「士」を除くこと、第 17 回学会より変更した方がよいについては全員一致したが、正式な名称決定は審議未了となった。この件は規約改正が必要であり、平成 13 年広島での代議員会時に臨時士会長会議を開催し正式に決定することとなった。

平成 11 年度東海北陸理学療法士協議会士会長会議議事録

日 時：平成 11 年 11 月 7 日（日）9：30－11：30

会 場：浜松市福祉文化会館 3F 32 会議室

出席者：勝田(愛知)，灰田(石川)，林(岐阜)，奈須田(福井)，荻島(富山)，
稲本(三重)，高橋(静岡)，加藤(事務局)，高橋(報告者)，青木(報告者)

協議事項

1. 第 16 回学会について（愛知県士会）

テーマ：「脳と身体機能を考える」

会 期：平成 12 年 11 月 25 日(土)・26 日(日)

会 場：名古屋国際会議場

内 容：(詳細は別紙企画書)

2. 第 17 回学会について（石川県士会）

担当石川県士会より学会長として、荒木 茂氏が推薦され承認された。

今後、学会長承認に当たっては簡単なプロフィールを提示することが申し
合わされた。

3. 演題募集方法の統一について（福井県士会）

細部にわたる内容統一の是非や査読実施について意見が交わされ以下の点
が確認された。

- ① 最低限統一すべき事務作業，内容について検討し開催士会の裁量範囲も
残すこと。
- ② 演題内容に関する倫理的厳守事項を文章化すること。
- ③ 上記①②についての検討は毎年開催される学術担当者連絡会に依頼し，
次回士会長会議で結論を出すこととなった。
- ④ 将来は査読を実施すべきであるがその時期については今後検討する。

4. ブロックより協会理事2名擁立について（岐阜県士会）

現在、愛知県士会より鈴木氏が理事を務めているので、北陸三県（福井、富山、石川）で検討し平成12年学会時まで決定することとなった。

5. 協会主催事業の各県士会受諾について（岐阜県士会）

昨年来、協会より講習会等は協会主催であり、源泉徴収等は協会で行う旨の通達があったが、これでは各士会の事業計画・予算として扱えなくなる。各士会では事業・予算規模の確保の為に受諾事業として主催すべきである。本件については、本県から協会に議題として提出しているが、他士会からも同様の意見を挙げていただきたい。

という要望があり各士会へ持ち帰り検討することとなった。

6. 次期ブロック代表士会長選出について（事務局）

次期代表士会長として愛知県士会長勝田が選出された。なお、2年後の改選時には他士会から選出する方向で申し合わされた。